

RYOBI

振動ドリル 変速振動ドリル

PD-12・PD-12V・PD-12VR

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6982019



●特長

- 強力な回転力と打撃力により、コンクリート、タイル、石材等への穴あけ、回転使用に切替えることにより、通常の電気ドリルとしてもご使用いただけます。
- ドリルー振動ドリルの切替は、切替ツマミを押すだけで簡単に行なえます。
- 軽量、コンパクトな設計で抜群の使い易さです。
- 安全な二重絶縁構造により、安心してご使用いただけます。
- 0～2,800 R.P.M.の範囲内で無段階に速度調整ができ、用途に応じた使い分けが可能です。(PD-12V・PD-12VR)

●仕様

電圧	100V
電流	4.4A
消費電力	420W
回転数(PD-12)	2,800R.P.M.
(PD-12V・PD-12VR)0~2,800R.P.M.	
振動数(PD-12)	30,800回/分
(PD-12V・PD-12VR)0~30,800回/分	
穴あけ能力	
コンクリート	12mm
木工	18mm
鉄工	10mm
重量	1.6kg

※PD-12VRは正逆転機能付

回二重絶縁

●通常附属品

- 補助ハンドル、チャックハンドル

●特別附属品(別販売)

コンクリートビット
φ5×85、φ6.5×100、φ7.5×125、
φ8.5×125、φ11×150

●用途

- コンクリート、タイル、石材等の穴あけ。
- 各種木材、金属、樹脂板などの穴あけ。

●ご使用に当たりますの注意事項

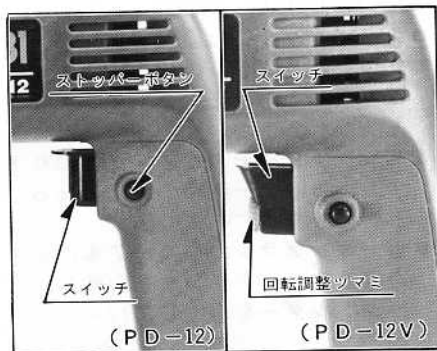
ご使用前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないで下さい。

- 壁や床など電気の配線がしてある個所に穴をあける時は、チャックや刃物、又本体の金属部分には絶対に手を触れないで下さい。たとえ電線に刃物が当たっても感電することのないようにプラスチックのハンドルと補助ハンドル部分だけでドリルを持つようにして下さい。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりした場合は異状の有無を確認した後ご使用下さい。
- 運転中は刃物及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。刃物は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。ネクタイ、袖口の開いた服装は機械の可動部に巻きこまれる恐れがあります。屋外の作業はゴム底の運動靴等をはいて下さい。
- 本機はお子様の手の届かない所に保管し、湿度の高いところ、雨のかかるところ、直射日光のあたるところは避けて下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確認し、使用後及び停電の際にはさし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。

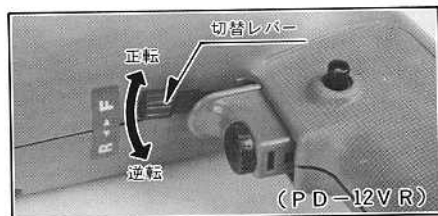
- 作業中は安全メガネをかけて目を保護して下さい。ほこりの多い作業にはマスクが必要です。
- 刃物は使用説明に従い、完全に取付けた状態でご使用下さい。不完全な取付けで運転しますと刃物が抜けたり折損する場合があります非常に危険です。
- スイッチを入れる前には、本体をしっかり保持し、モーターの回転による反力で振り回されないようにして下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

●スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り離すと切れます。またスイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチから指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合、再度スイッチを引くとストッパーボタンがはずれ、スイッチは切れます。連続使用の場合は、このストッパーボタンをご利用下さい。



- (PD-12V・PD-12VR)回転調整ツマミを左に回すと低速回転、右に回すと高速回転となります。右に止まるまで回した場合は、スイッチの引き具合により、0～2,800R.P.M.(振動数は回転数に比例し、0～30,800回/分)の範囲で調整できます。
- (正転・逆転の切替方法 PD-12VR)切替レバーを正転側に倒すと右回転、逆転側に倒すと左回転します。切替レバーの操作は、スイッチを切り回転が停止した状態で行なって下さい。



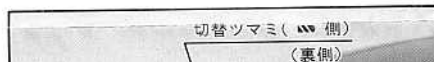
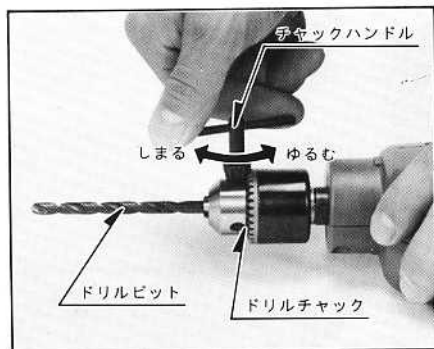
- ※回転調整ツマミを低速側にいっぱいまで回しますと、スイッチを引いても回転しなくなります。(PD-12V・PD-12VR)

●ドリルビットの取付け

- ドリルビットの取付けはドリルチャックの奥に必ず当るように入れ、ドリルチャックの締付は3ヶ所が均等になるように締付けて下さい。ドリルチャックの奥にドリルビットを当てない状態で使用されますと、ドリルチャックがゆるみ、ドリルチャックやドリルビットに傷をつけることがあります。

(ご注意)


コンクリート穴あけ中、ビットの先を油、又は水等で急冷することは絶対に避けて下さい。(切れ味が悪くなる等)




を油、又は水等で急冷することは絶対に避けて下さい。(切れ味が悪くなる為)

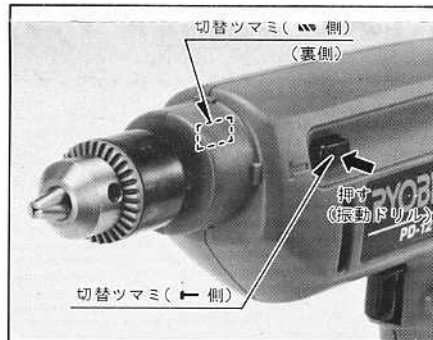
●ドリル・振動ドリルの切替

●(ドリル使用)

ドリル表示側()の切替ツマミを本体に向けて押し込んで下さい。回転作用のみとなります。

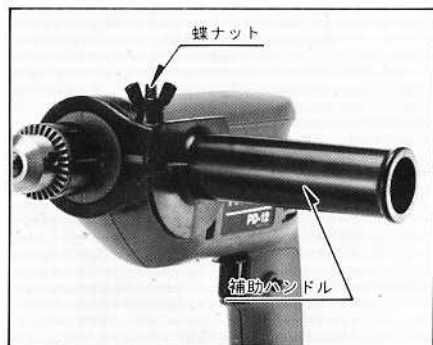
(振動ドリル使用)

振動表示側()の切替ツマミを本体に向けて押し込んで下さい。回転プラス打撃作用を持ちます。



●補助ハンドル

- 補助ハンドルは、作業姿勢に合わせて自由に角度調整が出来ます。
- 角度調整は、蝶ナットをゆるめれば、自由に回転させることが出来ます。任意の角度に調整し、蝶ナットを締付けて下さい。



●用途とキリの選び方

(コンクリート、タイル、石材)

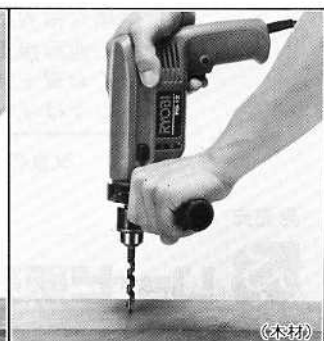
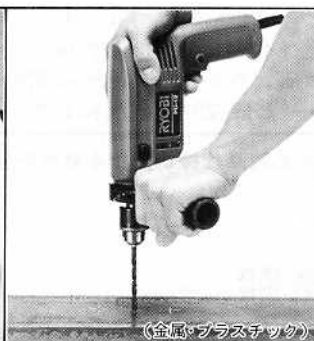
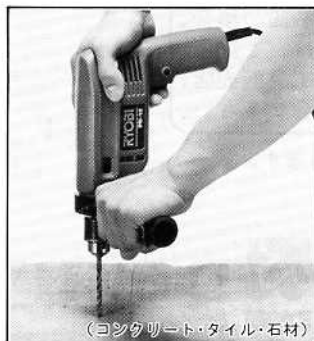
- コンクリートビットを使用して下さい。表面の滑り易いタイル、大理石は切替ツマミをドリル使用に切替えて位置決めを行なった後、振動使用に切替えて穴あけを行なって下さい。

(金属、プラスチック)

- 切替ツマミをドリル使用に切替えて鉄工キリを使用して下さい。
- ポンチ等で穴あけ位置を押し、そのくぼみにキリ先端をあてると、ずれることなく、きれいな穴あけが出来ます。

(木材)

- 切替ツマミをドリル使用に切替えて木工キリを使用して下さい。案内ネジによって自然に切込まれますから無理に押しつける必要はありません。
- 突きぬけ穴をつくる時は裏側にササクレが出来ます。これを防ぐには、不用の板等を裏側に重ねてあげればきれいに仕上がります。

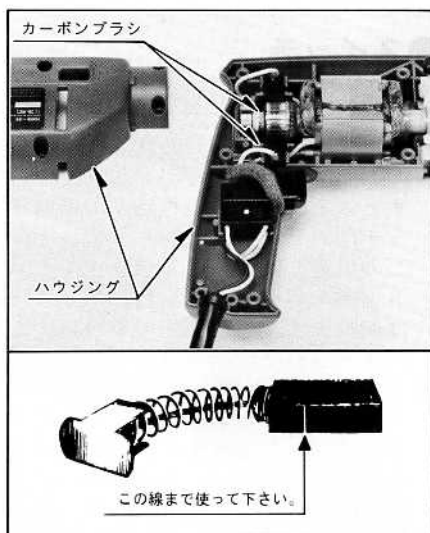


(ネジ締めPD-12VR)

- 切替ツマミをドリル位置に切替え、ネジ頭に合ったドライバービットを使用して下さい。
- 木ネジを締付ける場合は、下穴をあけて下さい。初めは低速回転させ、木ネジがある程度入りましたら、ネジ径、木材に合った適正回転数で締込んで下さい。
※ネジ締めの場合、クラッチ機構がありませんので、ネジ頭をいためないように注意して下さい。

● 使用後のご注意

- カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ 以下、即ちカーボンブラシの横の線まで短くなりましたら新しいカーボンブラシと交換して下さい。短くなったカーボンブラシをそのまま使っていると、モーター焼損の原因になることがあります。
- カーボンブラシの交換は7本のビスをゆるめてハウジングを外し、ブラシホルダーを引出して行って下さい。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、
厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、
その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮
なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、
もしくはリョービ販売網営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変更される事があります。

発売元

 **リョービ販売** 株式会社
RYOBI

 **リョービ** 株式会社
RYOBI